



安登小の ゲストティーチャー



西垣内勝さん

安浦町安登西の西垣内勝さん(72歳)は、安登小5年生農業体験学習のゲストティーチャーとして、昨年から頑張っています。

引き受けたきっかけは、小学校や前任者・原垣内さんからの強い依頼とお孫さんが5年生になったことでした。

教える内容は、昭和30~40年代の手作業による、米づくり体験(田植え・稲刈り・はぜ干し乾燥・脱穀・餅つき)と、授業による学習です。「農業は、冬から春の土づくり・夏の水管理・秋の収穫まで、一年中気の抜けない作業ですが、自分の農作業と同時進行できるので、苦になりません。協力者の助けもあり、続けていこうと思います。」と笑顔で話されました。

最後に、「子どもたちの田植えは裸足でします!!ケガをするので田んぼのなかに缶・ビンなどを捨てないでください!!」と強く言われました。



授業風景



田植え

ひろしまGENKI体操

安浦町では2019(令和元)年7月から、毎週金曜日三津口分館で、広島大学と生協ひろしま共催による、シニア向け健康づくり教室が行われています。きっかけは、広島県の女性の健康寿命が全国最下位であることから始まりました。教室では高齢者の体力向上のために考えられた、脳トレ・骨トレ・栄養アドバイス・ダンスなどを取り入れたプログラムが組んであり、約50名の人が楽しく参加しています。今年5月からは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前10時から午後2時からの2部に分かれ、希望の時間帯に受講できます。一緒にトレーニングに励むうち、次第に笑顔が増え「コロナなんかには負けないぞー」と皆の健康寿命はぐーんと伸びそうです。参加希望者は、事務局まで問合せをどうぞ!!



問合せ 生協ひろしま ひろしまGENKI体操事務局(☎080-8233-4201)担当: 今村 受付 月~金 9:00~17:00

やすうら青空市

安浦に来て2年目の地域おこし協力隊員二神愛美さん、6月から安浦駅前と豆ナ茶屋駐車場で「青空市」を始めました。得意のシフォンケーキを販売しています。味の種類も豊富、口コミで次々と人々が買いに来ています。仲間の協力でできた安浦駅前の「竹テント」は必見の価値あり。

二神さんは青空市に人が集まり安浦駅前に賑わいをつくらうと、出店者を募集しています。すでに安浦・川尻包括支援センターの手づくりグッズを出店。町内に限りません、みんなで駅前を集いの場にしませんか?

●酒かす・チョコ味などのふわふわシフォンケーキ (1個200円)の販売

日時/場所
第2・4日曜日 午前9時~なくなり次第 ※雨天中止
安浦駅前(林田旅館跡地)
第2・4月曜日 午前10時~なくなり次第
豆ナ茶屋(クレンド野菜市と合同)



南薫造記念館からお知らせ

2020(令和2)年は、南薫造が安浦の地で没して70年の節目の年にあたります。南薫造記念館では、これを記念して三部構成による「没後70年 南薫造展」を開催します。近年ご寄贈いただいた作品を中心に、初公開を含む約100点の作品のほか、記念館にて発見された南薫造に関する様々な資料や愛蔵品などを公開します。

第1期の会期が変更になります!

没後70年 南薫造展 I「瀬戸内の魅力」

会期: 10月3日(出)~2021年1月31日(日)

休館日: 火曜日(11/3開館、11/4及び12/27-1/5休館)

第1部のテーマは「瀬戸内」。瀬戸内の風土を愛し、多くの風景画を遺した南が、とりわけ好んだ瀬戸内の魅力をひもときます。

【関連イベント】

[ガーデン・コンサート](仮)

日時: 10月31日(出) 13:30~(30分程度)

演奏: 宮原律さん

(フルート、呉音楽家協会会員)

参加費: 無料(入館料が必要)

定員: 20名程度(先着)

[スライドトーク&アートカフェ](仮)

日時: 11月1日(日) 14:00~

(トーク30分、カフェ30分予定)

解説: 南薫造展担当学芸員

カフェ協力: 安浦町まちづくり協議会

参加費: 1人500円(入館料込)

定員: 15名程度

(電話受付 ☎25-3462、先着15名)

展示室をリニューアルしました!

特別展示室にあったパネルを撤去し、展示を一新。室内が広く明るくなり、展示が見やすくなりました。南薫造の絵の具や道具等も展示しています。

2021年2/4(休)~5/30(日) 没後70年 南薫造展 II「愛しき人・親しき風景」

2021年6/3(休)~9/26(日) 没後70年 南薫造展 III「洗練の美・日常にひそむもの」

このほか様々な小企画も開催しています。どうぞお楽しみに!

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の展示スケジュールが変更になる場合がございます。

TANTO

安浦金石文

金石文とは、金属や石碑・墓碑などに刻まれた文字や文章であり、地域の貴重な歴史です。散歩やウォーキング時に何気なく見る石碑ですが、時には裏面や横面に刻まれた歴史の内容に触れられたらいいかがでしょうか。



No.	石碑名	設地場所	設地年月	内容
①	菅田国光君の顕彰碑	三津口漁港前	昭和40年3月	漁業振興やコンクリート船武智丸を防波堤として設置したこと功績。
②	安浦海兵団跡之碑	三津口分館前	平成5年11月	第2次世界大戦末期安浦に海兵団が設置された。二度と戦争を起こさない事を誓い、建立された。
③	道路改修紀功碑	内海・太子堂前	明治39年11月	昔、内海が商業・経済の中心地であったころ、内海~三津口間は重要な往還道であり、村々に寄付を募りこれを拡張した。
④	弥四郎塚	内海南3丁目	江戸時代	中切地区から内海地区まで水路を作り、1.5haの土地に水を供給し田畑を潤した。
⑤	校舎改築・石門・外壁の築造	旧野路北小学校	大正2年5月	赤向坂地区は地域狭く人口は少ないが、人々は公共心に富んでいる。校舎改築の議論が起こった時、校長を助け費用を寄付し石門・外壁を築いた。
⑥	黒瀬・内海港間中畑下垣内道路改修碑	中畑・圓照寺下	不詳	昔、内海が商業・経済の中心地であったころ、内海~黒瀬間は重要な往還道であり、村々に寄付を募りこれを拡張した。
⑦	平畑道路記念碑	中切旧道沿い	大正4年	旧県道から平畑地区への道を拡張した。
⑧	開拓記念碑	野呂山十文字ロータリー北側	昭和60年10月	野呂山頂は近世大掛かりな開拓が幾たびかなされたが、苦難と挫折の歴史を偲び建立。
⑨	篤志記念碑	中畑・地倉神社境内	昭和2年12月	野路村役場敷地購入費の寄付

おでかけ情報 (注意!! コロナウイルスのため、中止の場合もあります。)

9月	やすうら青空市 第2・4(日) 9:00~	安浦駅前林田旅館跡 (売切り次第終了)	やすうら青空市 第2・4(月) 10:00~	安登豆ナ茶屋駐車場 (売切り次第終了)	安浦地区育児相談室 9/18(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所
11月	安浦町文化祭・展示&舞台発表 11/1(日) 9:00~10:00~16:00	安浦まちづくりセンター	まちづくり協議会定例会 11/10(火) 18:00~19:00	安浦まちづくりセンター	やすうら青空市 第2・4(日) 9:00~	安浦駅前林田旅館跡 (売切り次第終了)
	やすうら青空市 第2・4(月) 10:00~	安登豆ナ茶屋駐車場 (売切り次第終了)	文化講演会(勝丸恭子) 11/7(土) 14:00~15:30	まちづくりセンター (入場料500円)	ストレッチング教室 11/17(火) 10:00~11:30	安浦保健出張所
	安浦地区育児相談室 11/20(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所	やすうら青空市 第2・4(日) 9:00~	安浦駅前林田旅館跡 (売切り次第終了)	やすうら青空市 第2・4(月) 10:00~	安登豆ナ茶屋駐車場 (売切り次第終了)
	まちづくり協議会定例会 12/1(火) 18:00~19:00	安浦まちづくりセンター	加藤登紀子コンサート 12/6(日) ※延期	まちづくりセンター (入場料4,000円)	やすうら青空市 第2・4(月) 10:00~	安浦駅前林田旅館跡 (売切り次第終了)
10月	やすうら青空市 第2・4(日) 9:00~	安浦駅前林田旅館跡 (売切り次第終了)	やすうら青空市 第2・4(月) 10:00~	安登豆ナ茶屋駐車場 (売切り次第終了)	まちづくり協議会定例会 10/6(火) 18:00~19:00	三津口分館会議室
	安浦地区育児相談室 10/16(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所	ストレッチング教室 10/20(火) 10:00~11:30	安浦保健出張所	安浦町文化祭・展示発表 10/31(土) 9:00~17:00	安浦まちづくりセンター
	さらめき音楽館(セセディユ) 10/24(土) 11:00~11:45	安浦まちづくりセンター				

やすうら 記憶遺産

山本譲翁の残した450枚の風物画でたどる
安浦・暮らしの記憶



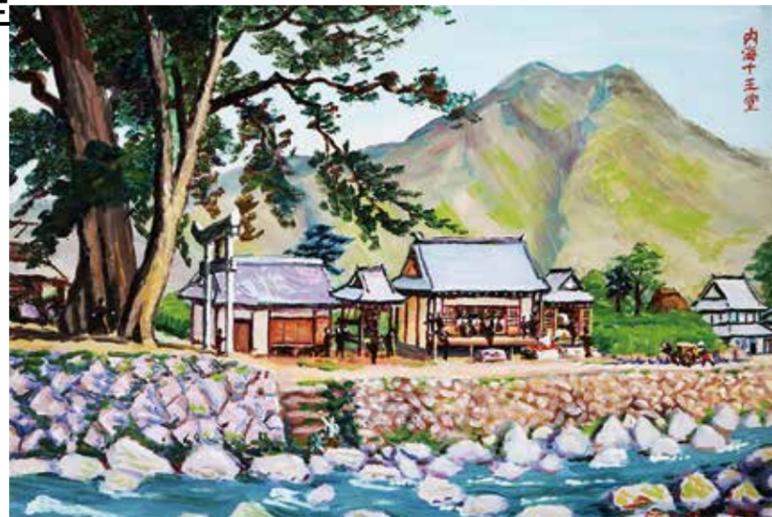
7月14日未明に倒れた荒神棕

お堂におおいかぶさるように立つ巨木は、棕(むく)の木です。棕は、古くは「クラ」などとも呼ばれていました。神様が宿る神座すなわち「カムクラ」を表す樹木と見なされていたのです。

安浦には、棕の木が5本ありました。1本目は三津口谷(みつぐちだに)の棕、2本目は巖島神社の明神棕(みょうじんむく)、3本目が川手神社の荒神棕(こうじんむく)、4本目が大歳神社の大歳棕(おおとしむく)、ここには神殿左右に2本の棕があったといいます。5本目が旧天皇神社の境内にあった巨棕。これが内海で随一の巨木とされ、1706(宝永3)年の古文書にすでに大木であったとの記述が残っています。この巨棕と大歳棕は、昭和・平成の時代に失われています。

残った3本の棕のうち、この絵に描かれた川手神社の荒神棕がこの夏の大雨の最中、突如として倒れ失われました。川手神社は、水神を鎮め祀る神社として古来よりあがめられ、また近接する十王堂(じゅうおうどう)は、土地の重要な場所に结界をはり鎮護する役割があるとされています。

禍(わざわ)いから人々と集落を守る近代的な手だてが何もない時代、近世の先人は棕の若木を土地の重要なポイントに植えたのです。「この土地を守ってくれ。」と願った先人の思いを宿した棕の木。失われたその姿を、一枚の絵が伝えてくれます。



内海 十王堂 制作：1975(昭和50)年10月29日

季節・旬な情報

豪雨災害の犠牲者に献花

2018(平成30)年の西日本豪雨災害で安浦町では5名の犠牲者が出ました。

災害から2年目となる7月6日、避難警戒レベル3から4の災害当日を思い出すような雨の中、まちづくりセンター慰霊碑の前に献花台を設け、親族や一般参加者が献花されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、献花のみになりました。



慰霊碑前の献花台



参列者

信楽寺で思いを一つに

信楽寺では2年前の西日本豪雨災害以降、新しい動きが生まれてきました。2020(令和2)年7月には、豪雨により被害を受けた九州の皆さんへ、安浦小学校の生徒が書いたメッセージを添えて、本当に必要な物資を地域のお寺に130世帯分を送り届けました。その後も、別の被災地からの要望をうけて取り組み続けています。

また、5月には地域住民の方々を中心とした「防護服ボランティア・チーム安浦」が結成され、手作り防護服500着を要望のあった全国の病院や、訪問看護サービス団体などへ直接郵送しています。

信楽寺には、「想い」を共感した仲間たちが自然と集まり、活動できる場所となっています。



防護服の製作



一世帯分の物資と小学生のメッセージ



完成した防護服

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景をぜひご覧ください。
※和暦のみ表記

安浦駅前通り



昭和11年頃の駅前通り(現市民センター前)。内海地区は明治~大正にかけて織物が盛んで、内海餅の特産地で備後餅と並び称され、駅前通りには木綿工場や倉庫が立ち並んでいた。



国鉄三呉線開通(昭和10年・三原~呉間)から84年が経過、現在の駅前通りは中学校や市民センター、商店・病院や民家が混在するメインストリートに変わった。

女子畑



昭和40年代後半の写真と思われる。女子畑の棚田風景で、入り母屋造りの母屋と納屋、山手には藁屋根の半屋(農作業小屋)が写っている。



上記写真と同位置から撮影できなかったが、山の稜線や椎森大歳神社は同じ。民家の屋根は女子畑の特徴である赤瓦だが、40~50年前と同じような懐かしい風景が見られる。



株式会社 STソーイング

呉市安浦町中央8丁目2-1 TEL0823-84-0567



STソーイング社屋



島谷代表取締役(中央)・藤川施設長(後列左から2番目)と社員の皆さん



島谷代表取締役

STソーイングは1991(平成3)年、縫製加工業として水尻で開業しました。

代表取締役の島谷文昭氏は、設計士からの転職で不安のなか、メーカー研修で縫製の基礎的な技術から機械の修理まで習得。メーカーから信頼をされ、今日まで取引が続いています。

2008(平成20)年には株式会社に変更され、ベトナムへも進出。現在3工場を運営し約100名を雇用するなど、企業グループ化を進めています。

2016(平成28)年からは、本社を現在の中央8丁目に移設し、障害者事業所も併設して、靴・衣類の製造と製品や材料の輸出入にも取り組んでいます。このたびは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて受注が減るなか、社員の提案でマスク作製に取り組みました。

通気性の良いメッシュ素材で、洗って繰り返し使用できるのが特徴です。

利用者からは、「息苦しくなく涼しい」と好評のマスクに仕上がりました。本場で小売り販売しています。みなさんも一度、試してみたいはいかがでしょうか。また、島谷代表取締役は、障害者の雇用やマスクを寄贈するなど、地域にも貢献されています。



マスク縫製作業